

# 「良い種まき」 ～良い実を結んでいますか～

Ⅱコリ9：6～12

秋といえば、収穫の秋です。私たちの心はどうでしょうか。刈り取る準備ができていますか。ムダに過ごしていないでしょうか。ムダに過ごすチャンス逃してしまいます。チャンスをいかす前振りがあるのに気付かない、合理的な方法を選べない、当たり前を当たり前にしてしまう、こういう風にしたほうがよいという手段を選べない、これは今の時代の大きな問題です。しかし、世の中でさえたくさんチャンスがあります。だから神様を信じ、聖書の教えを知っている私たちクリスチャンにとって秋は収穫のチャンスでいっぱいです。そしてクリスチャンの収穫は秋だけではありません。「実のならない時期に実をならす」クリスチャンにとっては無理な話ではありません。いつも収穫です。今が収穫ですが、私たちは「まだ収穫ではない」と勝手に決めてしまいます。「まだ時でない」「準備がもうちょっと」たぶんその人は一生「まだ」が続きます。自分たちが時を決めるとすれば、それは問題が起きたときです。何か悪いことが起こると「やらなくてはいけない」このネガティブから始まったのではよくなるわけがありません。(Ⅱコリ9：6～) 目標や目的をしっかりとしていれば自ずと結果はついてくるはず。「良い実(結果)」を得るためには目的に向かって種まきをしないではいけません。「涙とともに種を蒔く者は、喜び叫びながら刈り取ろう。」(詩126：5) どうして種まきはそんなに涙なのでしょう。今の時代、種は「買うもの」で、勝手に得られるために大してそこに思いはありません。しかし当時の農業は一ヶ月早稲なら収穫がゼロだし蒔く種もなくなります。一部を種としてとっておかなくてはならない、しかもまいても必ず収穫できるとは限らない、だから種をまくのは苦渋の決断なのです。今は違います。でもだからこそ、あなたが本当に種まきをして刈り取っているのか考える必要があります。あなたの生活すべての中で得られた収穫の中で種まきをしているかどうか、そして種をまいて刈り取りをしているかどうか、その刈りとりから得た喜びを持っているかどうかを考えてください。今、当たり前だと思っていたことが当たり前でなくなってきています。当たり前を捨てて日々の与えられたものから種まきをしていないと今例え安定した職をしていたとしても、それを失うときが来てしまうかもしれません。問題がおきて全てを失って対処する生き方はやめなくてはなりません。良い種まきをし、良い刈り取りをし、次に種をまかなくてはなりません。しかも嫌々ながらにするのでは意味がありません。収穫を得るには**①豊かに蒔く**。あなたは豊かに蒔いていますか。あなたが得られた収穫(結果)は何でしょう。「ミスをおかさない」これは「実」ではありません。当たり前のことです。当たり前で状況でアタックしなくてはなりません。ラクになれた分、アタックしなければ答えは見つかりません。私たちは毎月種を得ていますが、植えなければゼロです。種を植えてその種が死んで実から88倍の実を結ぶのです(Ⅱコリ9：9～11) だから豊かに蒔かなくてはなりません。そしてそれは賭けです。でもこれは神様が必ず保証してくれています。**②良い決断(良い地)**。良い地に良いものをまかなくてはなりません。私たちは当たり前前の土地になってはいけません。変わっているのはあなたの特質なのです。私たちは神様によって「よい地」にされているのです。何かをするのがネガティブな決断(こういう風になりたくないからこうしようなど)ではいけません。これでは良い地になりません。誰でも強いられてでもなく、いやいやするのでないでいいのです。良い動機で始めないと良いことになりません。良い地でよい動機でなくてはなりません。喜んでやっていないと意味がありません。「また、別の種が良い地に落ちた。すると芽はえ、育て、実を結び、三十倍、六十倍、百倍になった。」(マル4：8) あなたの良い動機は100倍になるのです。願いが叶い、結果あなたは豊かになり種が与えられるのです。**③良い時(よいチャンス)**。良い時、良いチャンスを生かさなくてはなりません。あなたは今年、良い結果を得られたでしょうか。チャンスをムダにしていると収穫は得られません。この種はこの時期というものがあるのです。今やらなくてはいけないことがあるのです。準備不足では何もできません。急遽チャンスが飛び込んだときにできる準備がありますか。知識がないのではダメなのです。きちんと土地を耕し、種を準備し、肥料ももっているから種まきができるのです。蒔いてない、蒔いても枯らす、それでは収穫がなく、感謝もなければ喜びがない、そして喜びがなければサタンの餌食です。(伝3：1～) いつチャンスがくるかわからないといっています。私たちは、永遠を思い、「こうなったらいいのにな」と思っています。しかし、時を生かし、神のチャンスを生かしたもののだけが、神の時がわかるのです。神のときはいつくるかわかりません。大問題が起きたからやろうそれではもう遅いのです。「よい地」とは心をいつも保つということです。私たちの環境がいつも神様によって喜びと自信に満たされていなくてはなりません。私たちはいつも喜んでいなければいけません。あなたが決断をする時に悪い動機でしているなら、あなたの後につく人も悪い決断をしてしまいます。「もっとこうするために」という決断をしなくてはなりません。よいことをしておけば悪いことがおきたとしても「こうしておいてよかったね」といえるのです。まだまだ収穫のチャンスはあります。収穫をたくさん得、来年の種をえるためにも神様に祈って歩いていきましょう。(要約者：岩崎祥誉)

～先週を振り返ってみよう！～

☆目標は達成できましたか？

( )

☆一週間を振り返っての感想

◇◇今日のメッセージの感想◇◇

◇◇メッセージを受けて今週すべき事◇◇